

(22) 資源回復計画推進事業（マコガレイ）

予算

運営費交付金

結果の概要

栽培漁業基本計画の対象種であるマコガレイについて、公益財団法人漁業振興基金の協力のもと、放流技術の開発を実施している。

今年度は大阪湾南部における放流効果を明らかにするため標識放流を行った。標識には入墨標識およびALC耳石染色標識を採用した。入墨標識の魚体への影響を明らかにするため飼育試験を行ったところ、スパゲティ型タグに比べ斃死率が低いことが明らかとなった。過去の群も含めた放流個体の採捕報告を取りまとめたが、報告は無かった。

調査方法

1. 調査期間

2014年4月～2015年3月

2. 調査項目

1) 放流効果調査

標識放流を行い、過去の放流群を含めた採捕データを収集した。

2) 標識魚生残率試験

標識魚（入墨およびスパゲティ型タグ）を水槽で飼育し、生残率を調べた。

調査結果

表1、2のとおり。

担当者

辻村浩隆、鍋島靖信、稲垣祐太、鈴子達也

表1 マコガレイ種苗放流結果

放流日	場所	平均全長(mm)	放流尾数	標識
2014/7/8	泉南市地先	80	2,000	入墨+ALC
2014/7/8	阪南市地先	80	2,000	入墨+ALC
2014/7/9	岬町地先	80	2,000	ALC

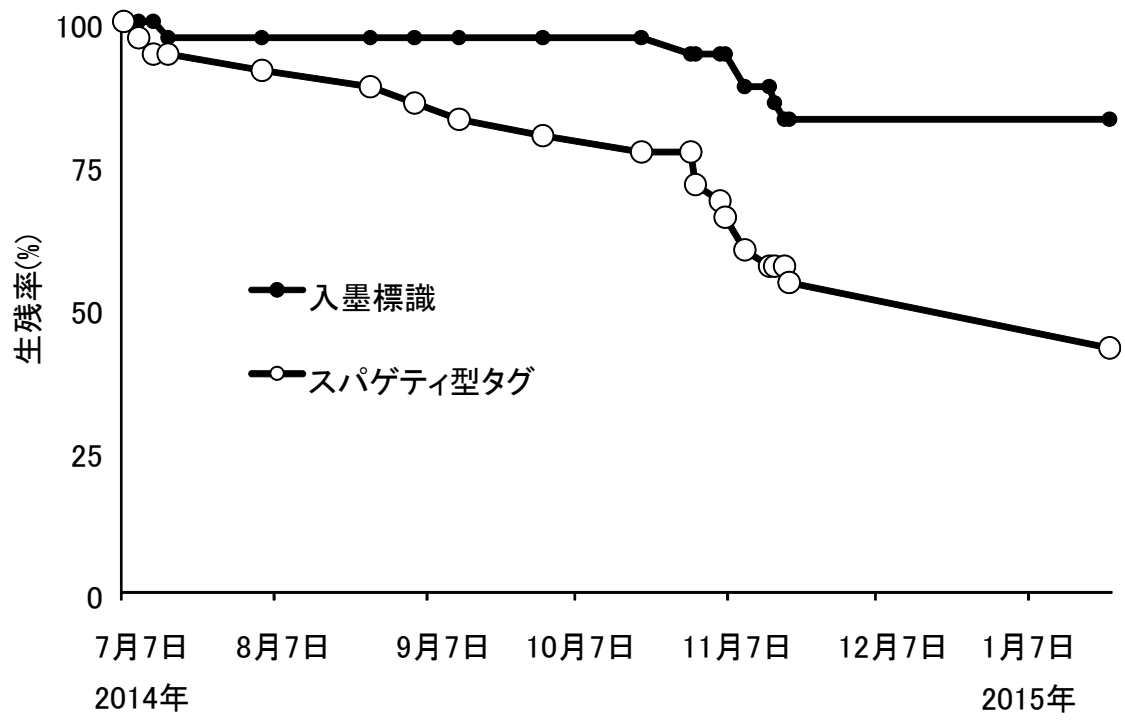


図1 マコガレイ標識魚生存率試験結果